



大の大人

三洋商事株式会社 代表取締役 森川由佳子



私は、父が亡くなった後会社を継いで、今年で19年になります。今自分で19年と書いてびっくりしました。あっという間に過ぎたというのが本当のところですよ。当時は父が亡くなったという悲しさよりも、正直これからが大変だと思ったことを覚えています。父とは、約8年間会社で一緒にいましたが、後継者として入社したのではなく、自分の家業も知らないのはどうなんだろうという思いから、父に会社に入りたいのだけど、と言いましたら、いいぞとってくれたので29歳で入社し、ずっと営業のアシスタントをしてきました。だから父が入院中も、会社のこれからを聞きたいのに、父が何も言わない以上、私のほうから尋ねることも出来ませんでした。父が亡くなった後、家族は他の人に会社を任せたい方がいいと言いましたが、私がすると決めたのです。

当社は、もともと繊維の専門輸出商社として、父が昭和34年に設立し、中近東、アフリカ、中南米へ合成繊維を中心に輸出してきました。ただ父が亡くなったところは繊維の生産が、日本からアジアへ移り、また中東が危なくなっているところで、日本からの輸出はとても難しくなっていました。これからどうしようと思っていた時に、主人から化学品の輸出代行を試してみたらどうかと言われて、そうだ、繊維にこだわらず、扱う物はこの際何でもいい、貿易商社としてやっていければそれで良いと思ったのです。それから人も少しずつ増え、父がやりたかった三国間貿易もやりだし、化学工業製品の商社として今日までやってまいりました。しかしこの2~3年前から世界の経済状況の変化に影響を受け、会社経営はそんな簡単なものでないということが、身に染みて分かってまいりました。

自分は一体今まで何をして来たのだろうか。。。

父が残してくれた物に甘え、スタッフに甘え、家族に甘え、自分はそれなりにやってきたと言う自負に甘えた結果だったのです。そしてまだまだやれるやれると、自分には時間があるという変な余裕もありました。でも気がついてみたら、いつの間にか人生半ばまで来ていました。

「もっとしっかりせーよ。もう、おまえさん、大人中の大人なんやで。もう時間ないで。」

これからは、もっともっと自分の言動、行動、判断、全てに責任を持たなければならないと。自分でしでかした失敗は失敗と認めもっともっと反省しなければいけないと。因は我にあるのです。会社の行く先を考え、前をしっかりと見据えなければなりません。あと何年元気でやっていけるのかと考えなければなりません。そして、小さくとも何か社会に役立つことをしなければならぬと思っています。過ぎてしまった19年を倍の38年の価値で生きていきたいと思っている今日この頃です。

プロフィール

昭和55年3月 関西外国語大学スペイン語学科卒
昭和55年4月から56年12月迄ポートピア81' 三菱未来館事務局勤務

昭和57年4月から59年8月迄筑波万博三菱未来館事務局勤務

昭和59年9月 三洋商事株式会社入社

平成5年12月 三洋商事株式会社代表取締役に就任 現在に至る

事業内容：印刷材料、電子材料を中心とした化学工業製品の輸出入業及び卸

近年は環境を意識したエコ商材（特殊塗料、節水器具、殺菌剤等）を扱っている。